

1 単元名 What Is the Most Important Thing to You? (開隆堂、SUNSHINE、P66~P71)

2 単元の目標

- 1). 関係代名詞の主格を理解し、それを用いることができる。
- 2). 本単元で出てくる新出単語等を理解し、本文の内容を理解できる。
- 3). ペアワークにおいて様々な例を用いて話すことができる。

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、NPO で活躍している山本敏晴さんが行っている、「お絵描き活動」を通して、読者に「あなたの一番大切なものは何ですか?」ということを問いかける、という内容になっている。単元中では他国の子どもの意見を取り上げているので、生徒の異文化理解につながられる。また、生徒の異文化理解を促す為に、それぞれの国の背景を掘り下げる授業展開が求められる。文法に関しては、関係代名詞という英語特有である後置修飾に慣れさせるものになっている。

(2) 生徒観

3-1 の生徒は、授業に積極的な生徒が多く、私語はほとんどない。授業中の発問に対する回答も活発であり、英語をしゃべることに対する抵抗もない。英語は普段から授業中にしゃべっているのだが、ライティングが苦手な子が多く、発音で単語を覚えてしまっているため、日本人が苦手としている発音である L と R のスペリングを間違っている生徒が多い。

(3) 指導観

単元全体を通して、文法の意味を教える前に状況や文から意味を推測させるような力を身に付けさせる。そのため、多くの例文に触れさせ、デモンストレーションを行わせながら生徒自身で文法法則を見つけられるように説明する。アクティビティでは、書くことと話すことを数多く取り入れ、文法の定着を図る。本単元の題材は世界中の子どもの絵を通しての主張ということで、他国の背景なども同時に教えることで、異文化理解をしながら、自身の国のことも再認識できる内容になっている。

4 単元の評価規準

コミュニケーション	外国語表現の能力	外国語理解の	言語や文化について
-----------	----------	--------	-----------

<p>ョンへの関心・意欲・態度</p>		<p>能力</p>	<p>の知識・理解</p>
<p>・ペアワークにおいて様々な例を用いて話すことが出来る。</p>	<p>・関係代名詞主格の表現方法を用い、またその内容について正しく理解できる。</p>	<p>・本単元で出てくる新出単語や文法を理解し、本文を読解できる。</p>	<p>・他国の背景について理解し、自分の意見を表現できる。</p>

5 指導と評価の計画（全 10 時間）

	指導内容	留意点	評価の観点
第 1 時	前単元の復習	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発言ができるだけ多くなるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語特有の後置修飾があることを理解できる。
第 2 時	P.66 関係代名詞主格"who"の文法説明	<ul style="list-style-type: none"> インプットだけの授業にならないよう、生徒にアウトプットや会話等の活動を中心に行う。 生徒の発言が出来るだけ多くなるように意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> 人をどうやって修飾するのか理解できる。
第 3 時	P67. 本文の Reading. 内容読解・新出単語、本文理解	<ul style="list-style-type: none"> 読解の前に前時の文法事項を復習する 要点を抑えられるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の内容が理解できているか 前時の文法事項を踏まえて読解できるか
第 4 時	P68. 関係代名詞主格"which"の文法説明	<ul style="list-style-type: none"> 積極的にアウトプットや会話を促せるような授業展開にする 既習事項と新出文法を組み合わせで自分の言いたいことを表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ものをどうやって修飾するのか理解できる。
第 5 時	P69. 本文の Reading	<ul style="list-style-type: none"> 読解の前に前時の文法事項を復習する 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の内容が理解できているか

	内容読解・新出単語・本文理解	・生徒が理解しやすいような授業展開	・前時の文法事項を踏まえて読解できるか
第6時	P70 関係代名詞主格"that"の文法説明	・多くの会話を通して文法法則の定着を図る ・生徒の発言機会が多くなるような授業展開にする	・関係代名詞を適切に扱えるか
第7時	P71. 本文の Reading 内容理解・新出単語・本文理解	・内容理解＋異文化理解も意識させる ・生徒自身で出来るように補助も行う	・教科書の内容が理解できているか
第8時	P72, 73 Speaking	・生徒の発言が多くなるように意識する	・アナウンスを聞き取り、内容を理解できるか
第9時	単元テスト テストの導入	・生徒の自習時間を設け、生徒が生徒に教える環境を作る。	・協力して復習が出来ているか
第10時	本単元の小テスト	・テストを受ける環境を整える	・テストに取り組むことが出来ているか

6 本時の学習【2/10時間】

1 本時の目標

生徒が関係代名詞主格の"who"を用いた文を書けるようになる。

2 本時の授業の工夫

本時の目標を達成するために、幾つかの例を提示して、生徒が文法のルールに気づき、達成感を感じさせ、文法項目の定着につなげる。本授業では、「文法」という言葉を用いず、「表現」という言葉を用いて、「何を表現できるか」というポイントに焦点を当てて授業を行う。

3 展開

指導過程	教師の活動	予想される生徒の反応	評価・留意点
------	-------	------------	--------

<p>導入 10min.</p>	<p>Good morning everyone! How are you today? I`m awesome! Thank you!</p> <p>So What`s the date today? Good, how do you spell ○○○?</p> <p>Ok, how do you spell ○○○? Great! Now, what day is it? How do you spell ○○○?</p> <p>Perfect! How is the weather today? How do you spell ○○○?</p> <p>Today, we are going to learn how to explain people!</p>	<p>Good morning! I`m fine and you?</p> <p>○○○ ○○○</p> <p>○○○ ○○○ ○○○</p> <p>○○○ ○○○</p> <p>○○○</p>	<p>答えられているかを確認する</p>
<p>展開</p>	<p>(パワーポイントを用いて) First, I want you to see the slides.</p> <p>Do you know who he is?</p> <p>Yes! He is the man who is ○○○!</p> <p>Then, how about her?</p> <p>Yes! He is the man who is ○○○!</p> <p>Then, how about him?</p> <p>Yes! He is the man who is ○○○!</p> <p>今の文章から、ルールが見えま したか?</p>	<p>He is ○○○!</p> <p>She is ○○○!</p> <p>He is ○○○!</p> <p>“who is!”</p>	

	<p>Yes, that's right!</p> <p>この表現を用いて、人についての紹介ができますね！</p> <p>Then, let's move on to the worksheet!</p> <p>(ワークシートを配る)</p> <p>Please make a group of four!</p> <p>First, I want you to fill out your worksheet!</p> <p>Let's start! (5分)</p> <p>Time's up!</p> <p>Then, tallest person in the group, please raise your hand!</p> <p>Please move to the group in front of you!</p> <p>Next, I want you to make questions!</p> <p>Let's start! (5分)</p> <p>Time's up!</p> <p>Now, I choose some of you.</p> <p>And I let him or her give question to everyone!</p> <p>Thank you!</p> <p>That's all for today! Thank you!</p>		
--	---	--	--

4 本時の評価

- ・関係代名詞を用いた文章を書くことが出来ている。。

5 準備

- ワークシート

6 板書計画

	Date
	Day
	Weather